

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

美里町健康づくり推進協議会
美里町食育推進会議

2 開催日時 平成28年11月16日（水）18時30分から20時00分 まで

3 開催場所 美里町健康福祉センター 研修室

4 会議に出席した者

- （1）委員 高橋文一委員、玉手英一委員、袖井文二委員、岡部伸之委員、
松本紀子委員、福島敏恵委員、成澤美恵子委員、伊藤恵子委員、
今野幹子委員
- （2）事務局 課長 青木正男、課長補佐 菊地知代子、技術主幹 伊藤八重子、
技術主査 日野とも子、技術主査 及川沙希、技術主査 佐々木史絵、
技師 五十嵐華絵、技師 松井玲奈、係長 佐々木早苗、
技術主査 千葉雅子、技師 片倉美咲
- （3）その他

5 議題及び会議の公開・非公開の別 （公開）

6 非公開の理由

7 傍聴人の人数 無し

8 会議資料

- 資料1 各重点項目別指標達成状況
資料2 平成27年度町民健康調査結果
資料3 第2期健康みさと21目標：指標と現状値
資料4 第2期美里町健康増進計画（今後の取組みの方向性）
資料5 第2期食育推進計画の進捗状況（目標、指標）
資料6 食育に関するアンケート及び肥満度調査の結果

9 会議の概要

(1) 議題の審議結果又は今後の対応

- ・ 目標指標は、数値評価のみならず原因を追究していくこと。
- ・ 今後の食育に関するアンケートや町民健康調査については、比較検討できるような内容とすること。
- ・ 健康課題を踏まえ、改善に向け工夫した取組みについて検討をすること。

(2) 詳細な意見(別紙)

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 年 月 日

委員 _____

委員 _____

会議の経過

青木課長	開会の挨拶
高橋会長	<p>ゆっくりしたい時間にお集まり頂きありがとうございます。滞りなく審議、協議できるように努めさせていただきますので、ご協力よろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>3、議事録署名委員及び書記の選任ということで、いかがいたしましょうか。一任でよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし
高橋会長	<p>議事録署名委員としましては、成澤美恵子さん、今野幹子さん、以上お二人でよろしくお願いいいたします。書記としましては、五十嵐華絵でよろしくお願いいいたします。</p> <p>次に、4、審議事項に入らせていただきます。1)美里町健康増進計画及び美里町食育推進計画の進捗状況および中間評価について、資料1～6に基づき事務局からお願いします。</p>
伊藤	【資料1～資料2】「第2期美里町健康増進計画」進捗状況報告
菊地	【資料3～4、追加資料リーフレット】「第2期健康増進計画」中間報告
松井	【資料5～6】「第2期食育推進計画の進捗状況」進捗状況報告
高橋会長	<p>全体的に低い傾向にあり、ますます努力が必要でありそうです。的確なアドバイスがあればお願いします。気づかれた点はございませんか。</p> <p>資料5で下向きの黒い印が多いです。このことについてアドバイスいただけるといいのかと思います。</p> <p>一つ、震災後の子供たちの肥満が県全体としても多いように感じます。食べ物だけではなく、通学形態など町全体として考えていく必要があるのではないかと考えています。体力測定も全体的に落ちている印象があります。教育委員会と話し合いながら、いい方向性を出してもらえるといいのではないかと考えています。安全を考えるとバス通学が必要なのだろうが、学校、役場と話し合いを続けてほしいと思います。</p>
玉手副会長	運動の習慣について、平成27年度が減っている理由はありますか。運動しない時代に入ってしまったのでしょうか。
高橋会長	高い低いだけでなく、原因を追究した方が良いと思います。

菊地	平成27年度の集計について、「運動していますか」、次に「時間はどのくらいしていますか」など絞り込みを行って集計をしています。平成17、22年度は「定期的に週に2回以上の頻度、1回30分以上の運動をしていますか。」と聞き方が異なってしまっており、数値が変わってしまったと考えられます。ただ、現実的な数値としては平成27年度の数値だろうと思います。
高橋会長	アンケート調査は難しいですね。ニュアンスが変わると数値が変わってしまう。確かに随分、減少している項目であります。外で遊ぶこともなく、歩かなくなり、子どもが心配。大人も同じ傾向がありますね。
松本委員	平成26年度に県民健康調査を実施しました。運動習慣がある人の割合が大崎地域は県内で一番少ない、宮城県の男性は全国で一番歩数が少ないことも分かっています。保健所としては運動習慣が少ないことが問題であると思っています。30～50歳代の男性を対象に歩数調査を実施しています。機会があれば、報告したいと思います。
高橋会長	大人の生活が子どもに影響していることはありますか。
松本委員	あると思います。
岡部委員	スクールバスについて、我が校は児童数110名、70名程度がバスを利用しています。その他でも歩いてくる児童はほとんどいない、保護者が送ってきていることが多いです。学校でも体力作りはしています。スクールバスがマイナス面になるような気がするのですが、この制度になった頃の児童たちがどうなっているのか、数値をおっていくことで健康面などの貴重なデータになるのではないかと感じました。
高橋会長	経年的に見ていく必要が重要であるが、町の方であとをおえるような関わりも検討してほしい。
菊地	はかれるデータがすぐに思い浮かばないので、回答が難しい状況です。
高橋会長	歯科的には少し良い傾向にあります。食べ物の入り口がよい傾向にあるので、あとは食事の仕方、中身も工夫していくことが必要かなと思います。
福島委員	美里町食生活改善推進委員会では、5年くらい前から中学校に訪問しています。野菜量測定、塩分・糖分の話をしています。話を聞いてくれているが、実際の家庭とは違うのかなと感じています。これからも続けていこうと思っています。
高橋会長	よろしくお願いします。お母さん方も忙しくて母が料理を作って教え

	<p>るということが少しずつ減ってきているのかもしれませんが、そこらへんを守りながら食育を推進していくことが期待されます。</p>
岡部委員	<p>校長会があり、学校の肥満対策が話し合われました。校医の診察だけでなく、学校独自で肥満対策、保健指導をしていきたいという案が出てきました。教育委員会、健康福祉課と連携を深めながら実施していきたいという話になっています。今後の栄養士会で提案して、町全体として取り組みたいという話になっています。</p>
高橋会長	<p>情報ありがとうございます。とてもいい情報であり、率先してお願いします。</p>
菊地	<p>一報はいただいております。</p>
袖井委員	<p>先日、東北大学公衆衛生の教授がここ50年で改善したことが喫煙率の変化と話していました。50%から30%に全国平均になった。美里町は50%に近いので、根性ある人が多いのかと感じた。</p> <p>健康町宣言をしているのは宮城県では丸森町だけのようです。美里町はどうでしょうか。するためにはどのようなことが必要なのかなと感じました。</p>
高橋会長	<p>足踏みしている状態であり、いろいろなご意見を検討してほしい。脅かしも必要、これだけ危ないということを伝えることも必要かなと思います。</p>
成澤委員	<p>胃の検診について、ある方から聞いたことには、町ではバスに乗ることが難しいため医療機関で受診することにしたそうです。その際に医師から「80歳過ぎて胃カメラ検査は難しい」と断られたと聞いています。年をとったら検査が難しいのでしょうか。</p>
玉手副会長	<p>個人差が大きいと思います。体を動かせないと検査が難しいと思います。担当の医師が判断したと思います。</p>
成澤委員	<p>病院で受けることができない場合は町の方ではどのように対応してくれるのでしょうか。</p>
高橋会長	<p>町の方で話をよく聞いて、フォローアップを丁寧にするようにしてほしいと思います。</p>
今野委員	<p>受診率が低いのはもったいないと感じました。もう少しみなさんが意識をもってくれたら良いのかなと思いました。</p>
高橋会長	<p>受診率の工夫はいつも話題になりますね。</p>
菊地	<p>乳がん、子宮がんなど女性の受診率は高い状況にあります。1回受けていただくと次につながる人が多いです。個別にご案内している年代もありますが成果がある検診と足踏みしている検診と差が出</p>

	<p>ている状況です。できるだけ初回受診者を増やすために初めて対象になる方には個別案内をしています。</p>
今野委員	<p>脳ドック、骨密度も年齢制限があって、本当に心配になった時には受けることができなくなってしまう。もう少し先までやっていただけないかなと思っています。</p>
菊地	<p>脳健診については、血管に奇形がないかを確認していただくことを目的にしており、若い年代に絞らせていただいています。他のがん検診と比べて精度として確立しているものではないので、大きな病気につながるものがないかを確認してもらうためのものとしています。</p> <p>骨粗鬆症については、今、骨量がどの段階にあるかを確認していただき今後の生活に活かしていただく目的にしています。</p>
高橋会長	<p>町の検診はきっかけづくりみたいなもので、それを機会にご自身で判断していただくものかなと思っています。うまく検診を活用していただくのが良いのかなと思っています。</p>
松本委員	<p>資料としてリーフレットを2種類配っています。大崎地域では40歳代男性のメタボリックシンドロームが多くなっています。対策をとるために食生活を調査しました。メタボの人の特徴が分かってきました。肥満編は夕食後の間食、食塩の方は麺類。これに絞って普及啓発をしていきたいと思い、リーフレットを作成しました。町と一緒に力を入れていきたいと思っています。子どもの肥満も多い。夜に間食していることが多いようで親子で夕食を見直そうとパンフレットも作成しています。医療機関、保育所、行政など掲示をお願いします。</p>
高橋会長	<p>同じようなレベル、同じ内容でアンケートをしてもらい、経年比較していければよいと思います。</p>
菊地	<p>朝食のアンケートは内容を大きく変えずに学年を絞っていこうと思っています。</p>
高橋会長	<p>中学あたりまで、よくを言えばもっと年齢いっても結果が追えると良いですが難しいですね。</p>
菊地	<p>追加資料でお渡しした食に関するアンケートですが、子どもたちではなく保護者へアンケートをとったものです。有意差があったものだけを載せております。噛む回数の部分では乳幼児健診での指導時に活用させていただいています。事務局としては単年で終了の予定ですが、先生方で必要であるという時には検討していきたいと思えます。</p>
高橋会長	<p>アンケートを出してくれた人だけでなく、還元してもらえるとよいと思います。</p>

今野委員	アンケートの誰かと一緒に食事をする子どもの割合(朝食)とありますが、朝食に限定したのはどうしてでしょうか。
松井	朝食アンケートの中で子どもたちに記入してもらっている内容になります。
今野委員	誰かと一緒にというのはお母さんが料理しながら同じ部屋にということではなく一緒に食事しているということでしょうか。
菊地	子どもたちが記入しているアンケートであり、どうとらえて記入しているか。
岡部委員	家庭環境が変わってきているのかもしれませんが、世帯は一つでも別棟で生活している家庭もあります。美里町の家族構成、仕事なども変わってきており、アンケートの結果も変わってくるのかもしれませんが。
福島委員	親子料理教室で「何が一番おいしかった」と聞いたところ、「ごはん」と答えた子どもがいました。いつもはおじいちゃん、おばあちゃんに合わせたご飯になっているようでした。いろいろな家族構成があるのだと感じました。
高橋会長	中埴地域が祖父母に世話になっている子どもが多い地域であるというデータがありました。町の中でも地域性があると思います。
伊藤委員	検診を忘れて受けないことがあります。忘れている方には連絡しているのですか。
菊地	受診機会を逃した方からの連絡があり、受診率の低い胃がん検診、特定健診は年2回実施をしています。 特定健診後の特定保健指導を個別で案内していますが利用率が県内でワーストの方であり、2回案内しています。2回目の案内の方が利用してくれる方が多い現状です。何度も案内することで意識してもらっているのかなと思っています。
高橋会長	次にはぜひ、一工夫された提案があるとうれしいなと思います。
青木課長	閉会の挨拶
	19:40 終了